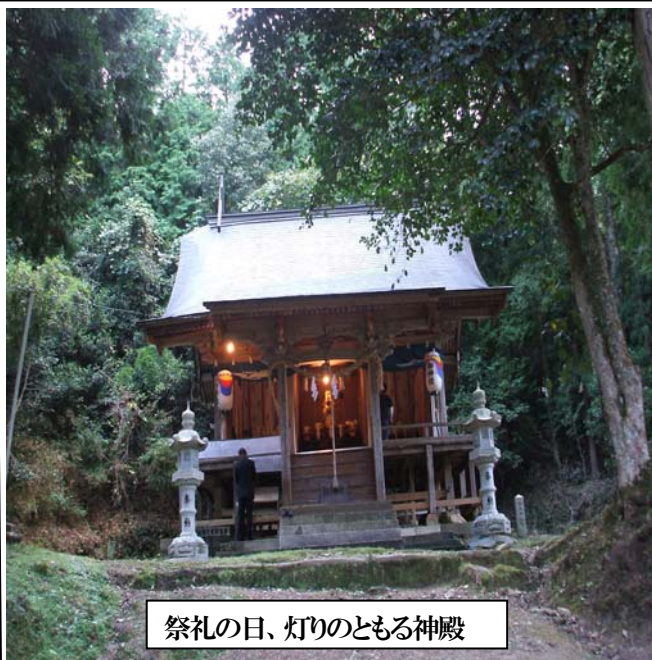


金
誌

ふるさと いばら

平成21年5月
井原郷土史同好会
安佐北区白木町井原
第18号



祭礼の日、灯りのともる神殿



市 の 高 山 八 幡 神 社

祭神

ほんだわけのみこと おひなかつひのみこと おきながたらしのみこと
品陀和気命 帶中津毘古命 息長帯比売命
たきりひめのみこと たきつひめのみこと いちきしまひめのみこと
多氣理毘売命 多岐津毘売命 市寸島毘売命

祭日 十月二十日前後の土曜・日曜

由緒

弓矢の神様として武家社会に広く信仰され、日清・日露の戦いを始めとして、度重なる戦争に出陣する際、この神に武運長久を祈願した。

古来村では、新宮神社・神倉明神社・稻荷大明神社・清水迫の龍王社との五社へ祭礼米を献上してきた。

その筆頭に八幡神社があげられている。

儀式

祭礼儀式は ①湯立 ②拝殿造花
御幸順

- ① 先立猿田彦 ② 獅子頭 ③ 玉串 ④ 御幣
- ⑤ 神輿 ⑥ 神主神馬 ⑦ 庄屋与頭(来賓)
- ⑧ 作花(じんぎ) ⑨ 笛太鼓 ⑩ 寄進馬